

水産物の市況について(令和2年5月及び令和2年6月)

—東京都中央卸売市場における令和2年5月(令和2年4月21日～令和2年5月20日集計)の市況と、
令和2年6月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和2年5月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、引き続きコロナ禍により外食向けの高級鮮魚や内食向けの一般鮮魚の需要も落ち込み、前年同月と比べやや減少し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、弱含みに推移しました。

II 令和2年6月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、銀だけを主体に横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は増加すると見込まれるものの、卸売価格は、小型主体の入荷であることから、やや弱含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、全体では前年同月より2割減少していることから、横ばいと見込まれ、卸売価格は、需要が弱く、前年同月より2割安いことから横ばいと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、やや増加すると見込まれるものの不漁で昨年同月の1/3とかなり少なく、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	5月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
2年	28	898	27	920	29	1,014
前年	30	1,075	36	1,088	29	1,095

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	5月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	301	113	85	97
さけ・ます(平均)	741	96	68	81
(ぎんざけ塩蔵品)	737	95	69	77
(あきさけ塩蔵品)	496	98	60	68
(ときさけ塩蔵品)	933	98	85	87
(べにざけ塩蔵品)	1,168	98	84	105
(さけ類冷凍品)	718	98	69	83
さば(生鮮品)	319	90	88	89
するめいか(平均)	988	107	113	144
(生鮮品)	1,008	108	118	145
(冷凍品)	826	95	90	122
あじ(生鮮品)	588	99	108	110
まぐろ(冷凍品)	1,161	100	76	76
(めばち冷凍品)	872	94	76	79
(きはだ冷凍品)	950	104	110	99
(くろまぐろ冷凍品)	3,001	103	91	87
(みなみまぐろ冷凍品)	1,520	94	77	72
かつお(生鮮品)	718	104	146	116

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:4月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成27年～令和元年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、小山、山口

直通 03-3591-5612